ひびきあい

NPO法人全日本シニアアンサンブル連盟 広報誌

年頭のご挨拶

NPO法人全日本シニアアンサンブル連盟
理事長　岡村斉能

皆様　明けましておめでとうございます。

平素より当連盟に格別なるご高配を賜り誠に有難うございます。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

新年に当たり当連盟の昨年度の活動概況と本年度の活動目標をご報告致します。

昨年は2月下旬に始まったロシアのウクライナ侵攻は欧米諸国を中心とするウクライナへの支援により、長期戦争となり、石油など諸物価の高騰、円安など、私たちの生活に悪影響をもたらせています。

一方、コロナ禍はオミクロン株に変異して相変わらず続いていますが、ワクチンの浸透などにより、緊急事態宣言や蔓延特別措置法の実施による練習会場の閉鎖は減少しました。

この様な状況下で5月15日には半年間延期していました第16回全国大会in取手は実施され多くの団で延期されていた定期演奏会を実施されましたことは喜ばしいことでした。

新楽団の設立に関しましては、会津SEと五反田SEが各々20名以上の団員のもと活動されています。（前号にて紹介済）

さて、新年度の活動計画でございますが、先ず5月29日（月）に第3回楽器別交歓会を催します。これは令和2年11月に予定されて、コロナ禍によって延期されていたものを実施しますので、内容は殆ど変更していません。本号の次頁をご覧ください。次に本年の4月1日が、全シ連が始まって25周年を迎えますので記念誌を発行致します。現在プロジェクトを結んで制作中ですが、全シ連のこれまでには大変多くの諸先輩や現団員のご協力があったことが改めて確認されこれまでの総括と今後の進路決めに大変有効であると存じています。それから新規楽団の設立ですが、2楽団程度を発足させたく現在準備中です。全国大会は本年度開かれませんが、全シ連への参加楽団がふえて来ており、地域毎に3～4楽団のグループ別の交歓演奏会の実施をお奨めしています。全国大会へはその中の1楽団が交替で出演したり、合同で出演するのがこれからの新しい方向ではないかと考えています。

次に海外親善旅行は既にご報告の通り、台湾へのツアーを延期していましたが、円安問題や中国と台湾の国際情勢などをしばらく静観したいと存じています。

最後になりますが、賛助会の皆様方には日頃より、多大なご協力を頂き深く感謝しています。お陰様で当連盟は望ましい方向に順調に進んでいます。本年が皆様にとりまして、ご健康で幸多き年でありますようにお祈り申し上げます。